



令和3年4月27日
内閣府 宇宙開発戦略推進事務局
準天頂衛星システム戦略室

我が国独自の衛星測位システム「みちびき（準天頂衛星システム）」の 船舶での国際的な利用について基本合意

～国際海事機関（IMO）第8回航行安全・無線通信・搜索救助小委員会^(※1)（NCSR 8）の
開催結果概要～

（日程：令和3年4月19日～23日、オンライン会議）

令和3年4月19日～23日にオンラインで開催されたNCSR 8において、我が国独自の衛星測位システム「みちびき（準天頂衛星システム：QZSS）」^(※2)について、船舶用の衛星航法システムとして利用するための技術要件が確認されました。今後は、次々回のIMO海上安全委員会（10月開催予定）において最終審議され、WWRNS^(※3)認証を得る予定です。これにより、外洋のみならず、沿岸航行時等の航行支援のための運用基準に適合する世界初の衛星航法システム^(※4)となります。

我が国は、平成30年5月の第99回海上安全委員会（MSC 99）において、我が国独自の衛星測位システムで高精度な位置情報を提供する「みちびき（準天頂衛星システム：QZSS）」を国際的に利用される船舶用の衛星航法システムとして位置付けることを提案し、以降、IMO航行安全・無線通信・搜索救助小委員会（NCSR）において検討が行われてきました。

今次会合では、QZSSの性能が船舶用の衛星航法システムとして外洋のみならず、沿岸航行時等に必要な測位精度等の技術要件に適合しているか検討が行われました。

審議の結果、必要な基準に適合していることが確認されました。外洋のみならず、沿岸航行時等の航行支援のための運用基準に適合する衛星航法システムは、これが世界初となります。今後は次々回のMSCにおいて、最終承認のための検討が行われる予定です。船舶用の衛星航法システムとして正式に位置付けられることで、近い将来、QZSSが国際的に広く利用されることが期待されます。

※1：船舶の航路指定、無線設備や航海機器の技術基準・搭載要件、搜索救助に関する国際的指針等について検討を行う小委員会。

※2：みちびき（準天頂衛星システム：QZSS）の概要



出典：<https://qzss.go.jp/>

衛星測位システムとは、衛星からの電波によって位置情報を計算するシステムのことです。米国のGPSがよく知られており、みちびきを日本版GPSと呼ぶこともあります。4機以上の衛星で衛星測位は可能ですが、安定した位置情報を得るためには、より多くの衛星が見える必要があります。みちびきはGPSと一体で利用できるため、多くの可視衛星数を確保し、安定した高精度測位を行うことを可能とします。

※3：SOLAS条約に基づき船舶に搭載される衛星測位システムの受信機等で使用される測位システムは、IMOで定められた基準に適合し、WWRNS (World-Wide Radio Navigation System) 認証を受けることが必要。

※4：既にWWRNSとして認定されている、GPS (米国)、GLONASS (ロシア)、Galileo (欧州)、BeiDou (中国)、IRNSS (インド) は、いずれも外洋航行時の航行支援のための運用基準にのみ適合。



【問い合わせ先】

内閣府 宇宙開発戦略推進事務局 準天頂衛星システム戦略室 本江
電話：03-6257-1778 FAX：03-3581-8803